お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	器具表示の指定ランプ以外は使用しない。
	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）		節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）		ランプを落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
	直射日光の当たる状態で点灯しない。	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

インバータ器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。

■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

ランプ交換・器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

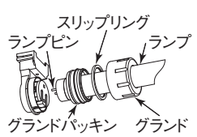
ランプ交換（タイマーリセット）

本器具はランプの点灯時間に応じて調光率を変化させ、一定の光束を保つよう設計されています。従ってランプ交換時はランプの点灯時間を記憶した器具側のタイマーをリセットさせる必要があります。

①ランプを寿命末期まで使用する場合（自動リセット）
- 電子安定器がランプの寿命末期を検知し、ランプを消灯します。電源を投入しても、ランプが点灯しなくなったら速やかにランプを交換してください。
- ランプ交換後は自動的にタイマーがリセットされ、器具は初期状態に戻ります。

②ランプを寿命末期まで使用しない場合（手動リセット）
- ランプを寿命末期まで使用せず交換する場合は手動リセットが必要です。
- ランプ交換後『電源 ON（3 秒以下）、電源 OFF（1 秒以上）』を 3 回繰り返します。
- リセットが正しく行われたら、1 秒間 100%点灯し、その後調光点灯します。（器具は初期状態に戻ります。）

(1) グランド、スリップリング、グランドパッキンをランプの両端に順次通す。
(2) ランプピンをソケットの根本まで「カチッ」と音がするまでランプを確実に装着する。
(3) ランプピンをソケットに差し込んだ後、グランドを左右均等に締めつける。



適合ランプ　FHF32

ランプは点滅回数が多いと短寿命になります

当社製ランプを使用してください。

本器具のソケットは 25.5mm 管専用ソケットです。

⚠注意
- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
- ○ランプをソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
- ○使用済みのランプを不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）
- ○指定した管径以外のランプを使わない（防水性が損なわれ、火災・感電の原因）
- ○ソケットの清掃に洗剤を使用しない（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）

■防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検、早めの部品交換をおすすめします。

清掃

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

知っておいていただきたいこと

○誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプなどの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社　三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI
三菱蛍光灯器具

E761Z979H25

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

Easyeco タイマーシリーズ　逆富士形器具 防雨・防湿耐食形（部品防水）

形名 **YEV4011**
- **PK**（高出力 45W 形　初期照度補正形）（公共施設：**FSS9MPA-321**）
- **PJ**（定格出力 32W 形　初期照度補正形）（公共施設：**FSS9MPA-321**）

YEV4021
- **PK**（高出力 45W 形　初期照度補正形）（公共施設：**FSS9MPB-321**）
- **PJ**（定格出力 32W 形　初期照度補正形）（公共施設：**FSS9MPB-321**）

本器具は初期照度補正機能付器具です。ランプ寿命末期まで、常に定格ランプ出力の 70%の光束を維持する様設計されています。

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
			取付面に凹凸がある所には付けない。（絶縁不良により感電の原因）
	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃を超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	軒下などの屋側以外の屋外で使用しない。
			腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）
	天井直付形専用器具です。レースウェイへの取付や吊り具による吊下げ取付は出来ません。取付不十分な場合、変形・落下の原因となります。（不具合の原因）		器具を密集して取付けない。（10cm 以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）
			器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。（絶縁不良により感電・火災の原因）
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の 90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）		調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）

お願い

■周囲温度は５～35℃の範囲でご使用ください。
点灯始動保証温度は－5℃以上です。周囲温度 5℃未満での連続使用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。

■電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V 電源をご使用の場合は両切スイッチを使用してください。スイッチを切っても微放電する現象の原因となります。

■商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

■天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。（すき間が発生することがあります。）

■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して８～10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。

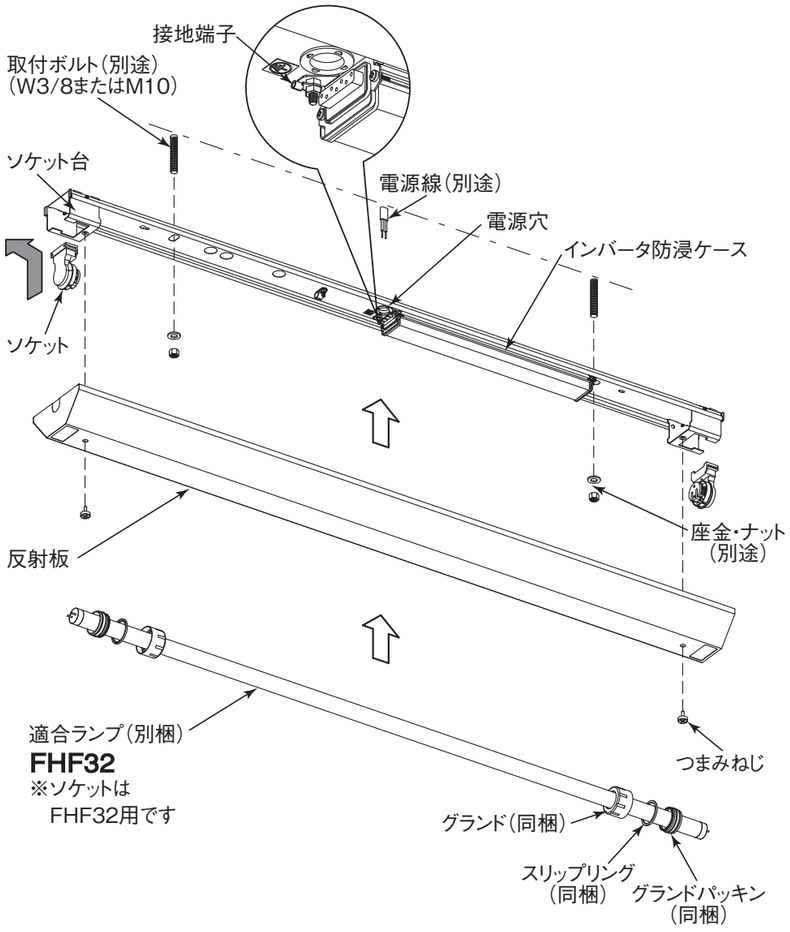
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

● 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

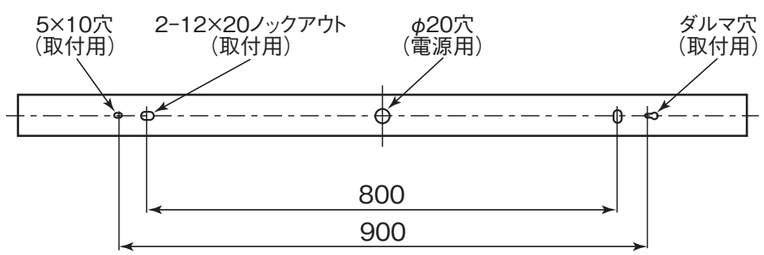
各部のなまえと取付けかた

⚠警 告 **器具の取付けは取扱説明書に従い行う**（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



取 付 穴

（単位 mm）



1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。
・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。

⚠警 告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

2 ソケットを取付ける

○本体に内蔵のソケットをソケット台に取付ける。

3 器具本体をボルトに取付ける

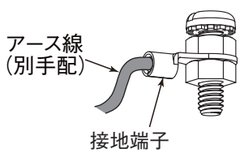
(1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
(2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

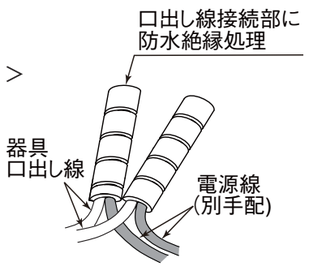
⚠警 告
取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線、アース線を接続する

電源線と器具口出線を確実に接続する。

○口出線長さは、中央電源穴より器具外約 0.15m です。
○高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて圧着接続子などで確実に接続する。
○**電源線の接続部は、自己融着絶縁テープなど、防水性のある絶縁被覆処理を確実に施す事。**
○アース線を接地端子に圧着する。
＜D 種（第３種）接地工事が必要です。＞





⚠警 告
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因

自己融着絶縁テープ等で口出し線接続部を防水絶縁処理した後に、防水のため防水絶縁処理した先端を上（天井側）に向ける。

⚠警 告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

⚠警 告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

5 反射板を取付ける

○反射板を、つまみねじで確実に取付ける。

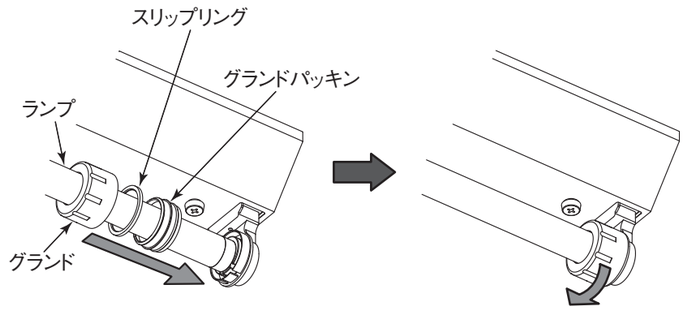
⚠注 意
取付けが不完全な場合落下の原因

6 ランプを確実に取付ける

(1) 器具に同梱してあるグランド、スリップリング、グランドパッキンをランプの両端に順次通す。
(2) ランプピンをソケットの根本まで**「カチッ」**と音がするまでランプを確実に装着する。

一方に片寄り過ぎますと、接触不良を起こす場合があります。
（この場合は、ランプを長手方向、左右に動かして片寄りを直す）

(3) ランプピンをソケットに差し込んだ後、グランドを左右均等に締めつける。



⚠注 意
取付けが不完全な場合落下の原因

○工場出荷時の光束値はランプ定格光束の約 70%に設定されています。